

森杉 典子 議員

子どもの防災教育

問 子どもの発達段階に応じた防災ハンドブックの導入は。

答 防災教育や地域、家庭における防災対策に活用できる資料として、小中学生向けの防災ハンドブックを作成している県や市町があり、本市の防災教育にも活用できると考えている。

自転車走行空間の拡充は

問 自転車走行空間（矢羽根という青いナビマーク）の利用状況とその効果は。

答 県と連携し自動車走行空間の整備後、歩道を走行する自転車の減少や逆走する自転車数の減少等、一定の成果が得られた。今後県や県警と協議調整し、可能なところから路面整備を進めていきたい。

山田 貴子 議員

小中学校の学力向上と
体力向上対策は

問 漢字・算数検定実施の結果と対策は。

答 漢字検定の全体の合格率は80・0%、算数検定の全体の合格率は79・2%だった。来年度以降の実施に向け、自立力を育み、次の目標を見つけ、今後の授業改善につながるよう、学校にフィードバックしている。



矢羽根をペイントした自転車走行空間

自治体による
認知症高齢者の賠償補償は

問 認知症高齢者等事前登録の方が、外出時に事故を起こした際の保険等の救済制度の導入は。

答 認知症ハートフルブックに保険案内を記載し説明している。現時点では個人賠償責任保険料を市で負担することは考えていない。今後助成制度を早急に検討していきたい。

働き方改革で
休暇の取りやすい環境を

問 昨年の体力テストの結果を踏まえた対策は。

答 幼稚園から遊びを通して運動に親しむ取り組みを継続し、整周小学校体育連盟においても、効果的な体育指導について研修し、毎年冊子にまとめるなど、小学校教員の指導力向上に努めている。今後は、幼小中が連携し、各学園として高めたい体力を共通認識し、継続的に体力向上に努めていきたい。



持久走大会(山名小学校)

働き方改革で
休暇の取りやすい環境を

問 市役所における男性職員の育児休業取得率を高める環境づくりは。

答 平成23、28年度に各1名と低い。要因は、職場に迷惑がかかる等の理由である。平成29年11月から育児等ライフプランシートを活用し、事前に所属長と面談し職場の協力体制を確認、安心して休暇を取得できる体制に努めている。